

JVC

3D 液晶モニター

GD-323D20

取扱説明書

3D HDMI realD 3D



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(3～4ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。



3D視聴時の注意点を11ページに記載しています。3D視聴をされるときは、必ず11ページの「3D視聴時の注意点」をお読みのうえ正しくお使いください。

目次

目次	02
安全上のご注意（必ずお守りください）	03
使用上のご注意	05
転倒防止	05
設置	06
スタンドの取り付け	06
ケーブルクランプの取り付け	06
接続	07
背面	07
基本操作	08
正面	08
音声チャンネルの選択	09
情報表示について	09
ステータス表示について	10
3D について	11
3D 基本原理	11
対応 3D 映像フォーマット	11
3D 視聴時の注意点	11
3D 映像を見る	12
対応 3D フォーマット一覧	13
Medical Tool 機能を使う	14
メニューの設定	15
メニューの操作	15
メニューの遷移図	16
メニュー項目一覧	17
Picture/Sound メニュー	17
3D メニュー	19
Features メニュー	20
Setup メニュー	22
外部制御	24
外部制御の概要	24
MAKE/TRIGGER 方式での外部制御	24
シリアル方式での外部制御	25
困ったときは	27
自己診断表示について	28
仕様	29
一般	29
対応信号フォーマット	30
外形寸法図	31
保証とアフターサービス	32

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠ 警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

⚠ 注意 「人が軽傷を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと



一般的
注意



感電注意



ケガに
注意



手を挟まれな
いよう注意



アース線
をつなぐ

禁止されていること



禁止



分解禁止



ぬれ手
禁止



水場での
使用禁止

実行して欲しいこと



プラグをコンセ
ントから抜く

⚠ 警告

表示された電源電圧以外で使用しない。

付属の電源コード(3極)は、AC 100V 専用です。
AC 100V以外で使用するときは、使用電圧に適した電
源コードを使用してください。



禁止

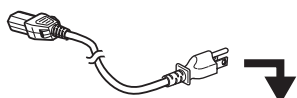
専用ACアダプター以外を使用しない。



禁止

安全アースを接続する。

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあ
ります。



ACコンセント(3極)

付属の電源コードをアース端子付きの3極ACコンセ
ントに接続すると、安全アースも接続されます。



アース線
をつなぐ

電源プラグやコンセントに、ほこりや金 属が付着したまま使用しない。



禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。



感電注意

電源コードを傷つけない。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、
ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない



禁止

本機の裏ぶた、カバー、キャビネットを はずしたり改造したりしない。



分解禁止

通気孔をふさがない。

- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまの状態で使用しない



禁止

内部に物を入れない。

感電の原因となります。特にお子様には
十分注意してください。



禁止

本機の上に水の入ったものを置かない。



禁止

不安定な場所に置かない。



禁止

風呂場などの水のある場所で使わない。



水場での
使用禁止

動作使用条件(温度、湿度)に注意して設 置する。

動作使用条件の範囲内で設置するようにしてください。
(※29ページ「動作使用条件」)本機は熱を帯びる構造に
なっています。取り扱いには十分気をつけてください。



一般的
注意

壁にかけるときは、販売店(専門の業者) に依頼する

壁にかけるときは必ず販売店(専門の業者)にご依頼く
ださい。一般の方が行くと、落下して本機が破損するだ
けでなく、けがや感電の原因となり、大変危険です。



一般的
注意



次のことが起こった場合は

- 煙が出ている、異臭がする。
- 落下などにより破損した。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 電源コードが傷んだ。
- 内部に水や物が入った。

モニターを
オフにする。

電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災や感電の
原因となります。販売店に修理を依
頼してください。



安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

電源プラグはコードの部分を持って抜かない。



禁止

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない。



禁止

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む。



一般的注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。



ぬれ手
禁止

3極-2極変換アダプターを使用しない。

3極のACコンセントを2極に変換するアダプターは、確実な接地・接続ができないため、感電の原因となります。



禁止

付属の電源コードとACアダプターを他の機器に使用しない。



禁止

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く。



プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。



プラグをコンセントから抜く

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす。



プラグをコンセントから抜く

電源コードを抜くときは、壁側のコンセントから先に抜く。



プラグをコンセントから抜く

次のような場所に置かない。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 直射日光や強い光の当たるところ



禁止

本機の上に重い物を置かない。



禁止

本機の上に乗らない、ぶら下からない。



禁止

液晶画面に衝撃を与えない(ものを当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)。



禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない。



禁止

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する。



一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください。



一般的注意

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

この製品は、放送局などの限定された環境で、専任者により取り扱われることを前提としています。専門知識を持ったかたが操作してください。

ご使用前に、必ず動作確認を行ってください。

故障などに伴う営業上の機会損失等は、保証期間中または、保証期間が過ぎている場合でも、補償は出来ませんのでご了承ください。

使用上のご注意

液晶パネルおよびバックライトは、有寿命部品です。液晶パネルの基本的な特性により、残像(焼きつき)や表示ムラが発生することがあります。画像を時々切り換えたり、省電力(パワーセーブ)機能を使う、こまめに電源をオフにするなどして、液晶パネルへの負荷を軽減させることをおすすめします。液晶パネルの連続稼働は、劣化を早めることがあります。

● 長時間のご使用について

本機を長時間連続で使用される場合は、電力消費および機器の負担を軽減するために、メニュー → 「Features」 → 「Sync Function」 → 「No Sync Action」を「Power Save」に設定することをおすすめします。(P.21ページ)

● 高温でのご使用について

高温の場所で使用しないでください。パネルや本機の部品が故障することがあります。

● 予備機について

人や財産の安全性に関わる用途や緊急かつ確実な映像再現が求められる用途でご使用の場合は複数台のモニターを使用されるか、もしくは予備機を準備されることを強くおすすめします。

● お手入れのしかた

画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- のりやテープなどを張らない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- 強くこすらない

画面の汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。

通気孔

通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布でふき取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- シンナー、ベンジン、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入り洗剤、化学ぞうきんなどを、消毒や清掃に使用しない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 強くこすらない

キャビネットやモニター画面の消毒や清掃には、イソプロピルアルコールまたは無水エタノールで、軽く拭いてください。

メガネ

メガネの汚れを取り除く場合には、柔らかい布を使ってからぶきを行ってください。

■ 転倒防止

スタンドに設置するときは、転倒・落下防止の処置をする。

地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり、大変危険です。

スタンドに設置するときは、転倒・落下を防止するための処置をしてください。

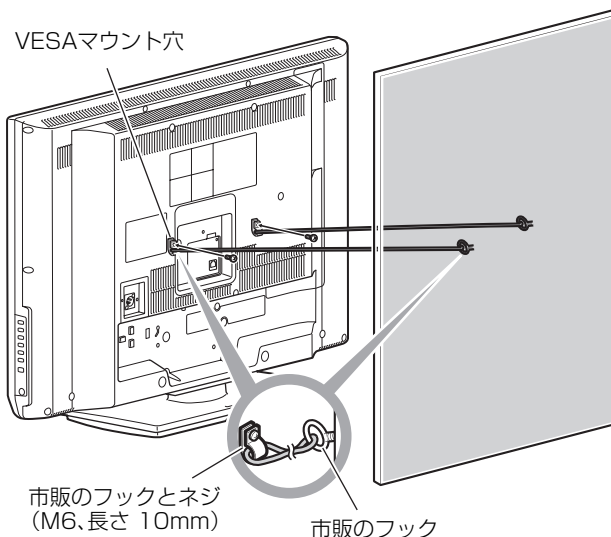
参考例：転倒・落下防止のために

本機をひもで壁に固定することで、転倒・落下を防止することができます。

固定のしかた

本機背面にあるVESAマウント穴のうち下側の2個に、市販のフックとネジ(M6、長さ10mm)を取り付けます。取り付けたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定します。

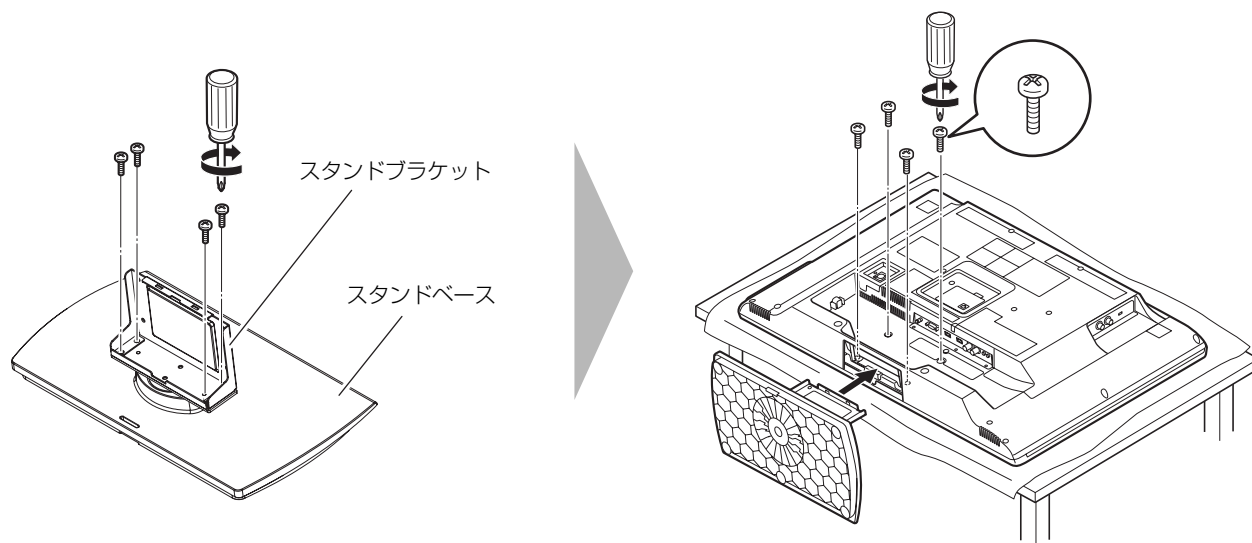
転倒・落下防止処置を行う場合、壁や柱の強度によっては、その効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止処置は、けがなどの危害の軽減を意図するものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。



設置

■ スタンドの取り付け

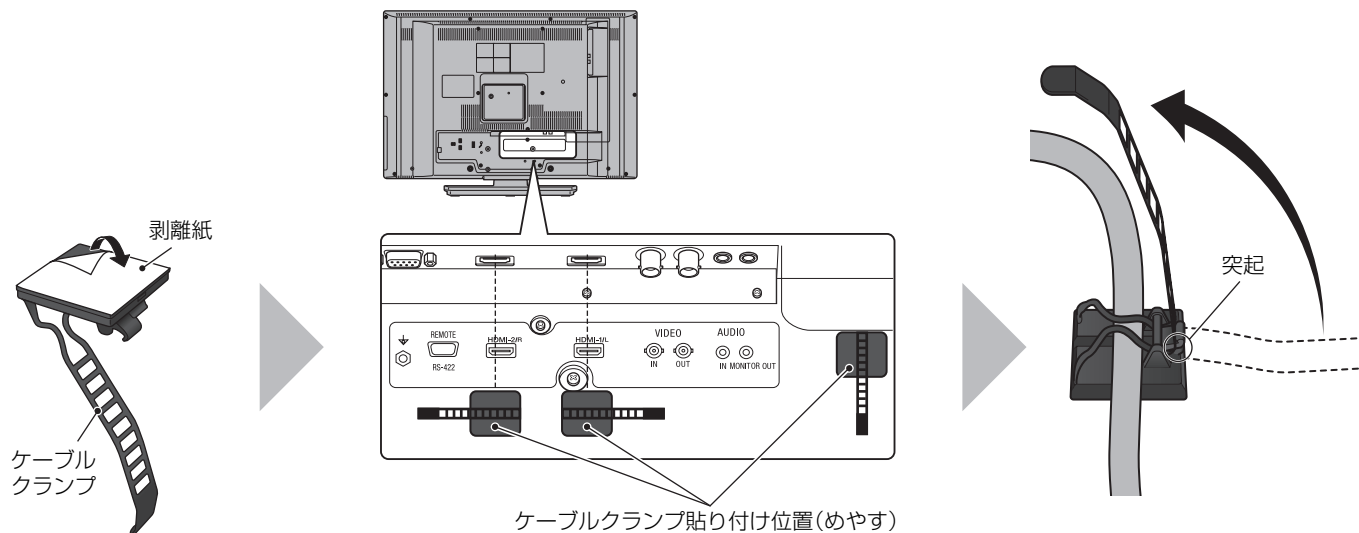
スタンドブラケットをスタンドベースにネジで取り付けてから本機に差し込み、スタンドと本体をネジで取り付けます。



- 液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行なってください。
- 本機に肘をかけたり、寄りかかったりしないでください。
- 設置するときに、液晶画面に触れないでください。
- 取り付けが不完全だと、本機が落下するなどして、けがや故障などの原因となります。

■ ケーブルクランプの取り付け

本体の設置が終わったら、付属のHDMI 1、2用ケーブルクランプを下図の位置に貼り付けます。接続が終わったら、ケーブルをケーブルクランプに通して固定します。



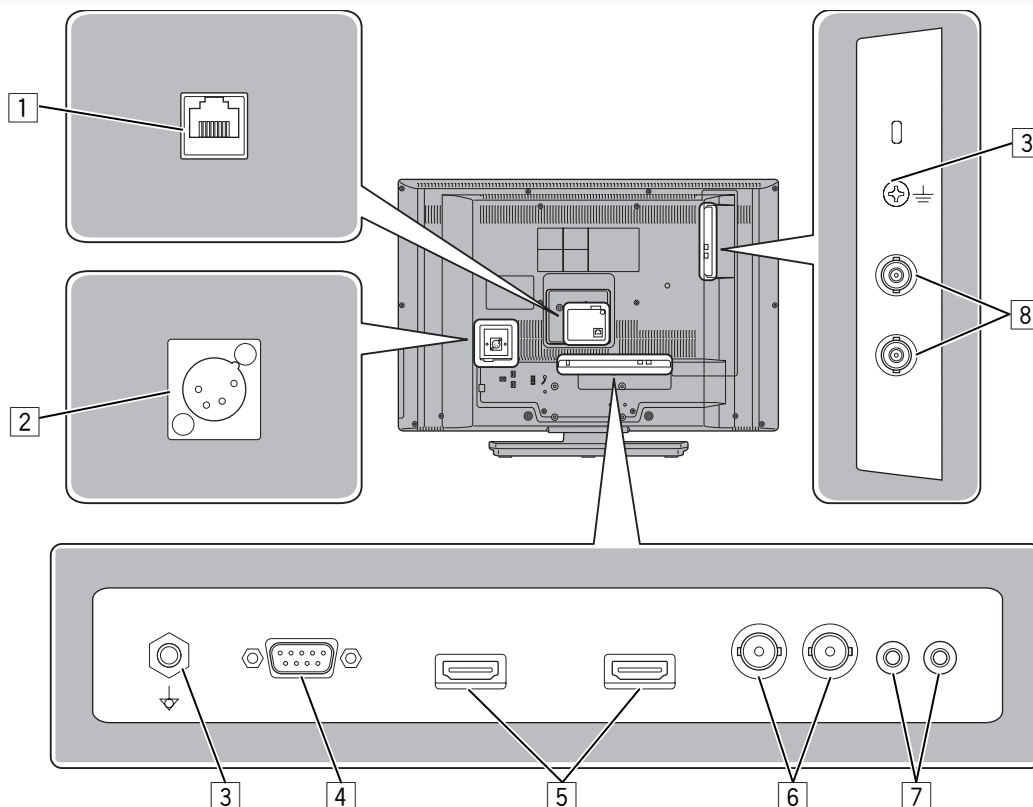
- ケーブルクランプ裏面の剥離紙をはがします。

- ケーブルクランプ貼り付け位置にケーブルクランプを貼り付けます。

- ケーブルクランプにケーブルを通します。ベルト部分を締め、突起に引っ掛けて固定します。
- 突起は2箇所あります。用途に応じて使用してください。

接続

背面



接続するときの注意

- 本機と接続する機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと、映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

1 REMOTE (MAKE/TRIGGER) 端子 (RJ-45)

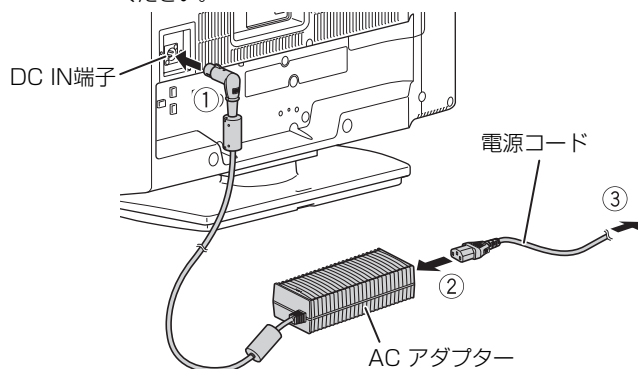
本機をMAKE/TRIGGERで制御するための端子。(※24ページ)

2 DC IN 端子

DC電源の入力端子。付属のACアダプターのDCプラグを接続します。

- 付属のACアダプターを使用してください。

ご注意: すべての機器の接続が終わってから、電源プラグを接続してください。



- 必ず「①→②→③」の順番で接続してください。

3 ㏊ / ㏊ (等電位/機能アース) 端子

㏊ (等電位) 端子: 電位差の発生を抑制します。他の機器と接続するときは、必ずそれぞれの印字マーク同士を接続してください。

㏊ (機能アース) 端子: アース用線を接続します。

4 REMOTE (RS-422) 端子 (D-sub9pin)

本機をRS-422で制御するための端子。(※25ページ)

5 HDMI (1/L, 2/R) 端子 (HDMI type A)

HDCP対応のHDMI信号の入力端子。(※31ページ)

6 VIDEO (IN, OUT) 端子 (BNC)

アナログ映像信号の入出力端子。

7 AUDIO (IN, MONITOR OUT) 端子 (ステレオミニジャック)

HDMI1・HDMI2、SDI1・SDI2、VIDEOのアナログ音声信号の入出力端子。
IN 端子

- アナログ音声を使用する場合は、Picture/Soundメニューの「Sound」で各入力ごとに設定します。

MONITOR OUT 端子

- 選択されている映像入力の音声が出力されます。
- 出力端子には現在、スピーカーから出ている音声が出力されます。
 - AUDIO (IN) 端子に入力されたアナログ音声信号
 - HDMI1、2入力に入力されたPCM音声信号(コピープロテクトされていないとき)
 - HD/SD SDI (IN1/L、IN 2/R) 端子に入力されたEMBEDDED AUDIO信号

上記の信号は、アナログ音声信号にデコードして出力されます。

- 本機の電源がオンまたは「Gray Back」(灰色画面モード) (※21ページ「No Sync Action」)のときのみ出力されます。

8 E.AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI (IN 1/L, IN 2/R) 端子 (BNC)

3G SDI/HD SDI/SD SDI信号の入力端子。

- サンプリング周波数48 kHz、1~16チャンネルのEMBEDDED AUDIO信号にも対応します。

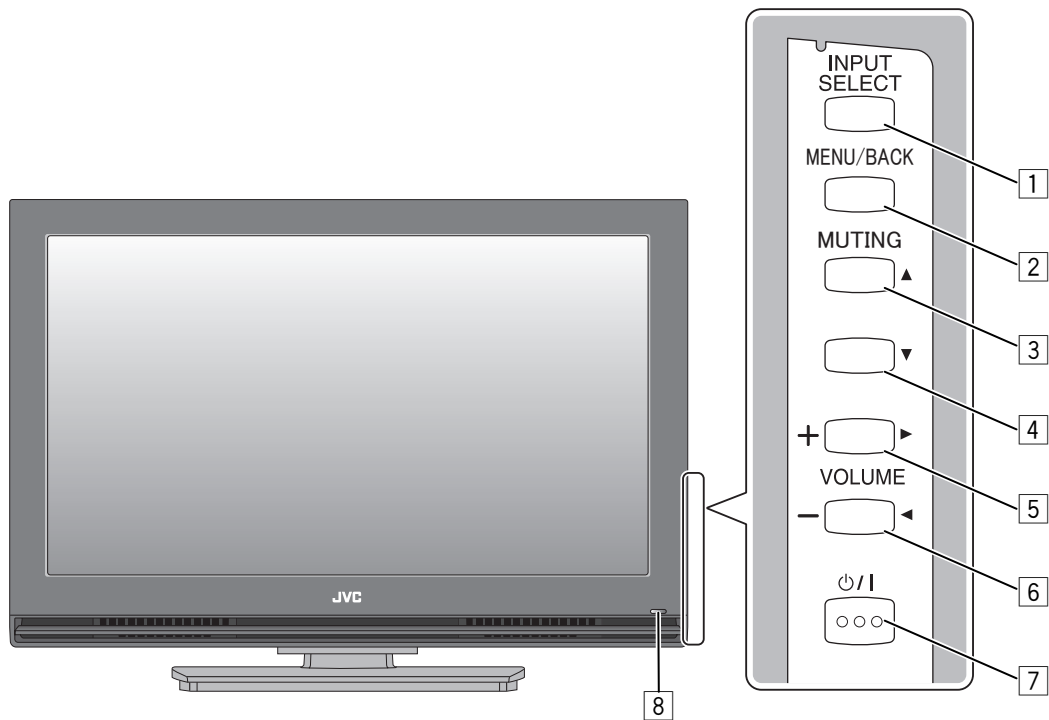
- DUAL LINK SDI入力のときは、SDI IN1端子とSDI IN 2端子を使用します。

- ステレオカメラリグでの撮影では、SDI IN 1端子にL映像、SDI IN 2端子にR映像を入力します。

3G SDIレベルBデュアルストリームの場合はSDI IN 1端子に、3G SDIレベルB DUAL LINKマッピングの場合はSDI IN1端子とSDI IN 2端子に入力します。

基本操作

正面

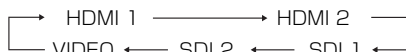


- 選んでいる入力や信号フォーマットに対して機能しないボタンを押したときは、「NO EFFECT」と表示されます。
- MAKE方式で外部制御している機能は、ボタンでは操作できません。 (「REMOTE ON」と表示されます)
- コントロールロック中にボタンを押したときは、「Control Lock On!」と表示されます。

1 INPUT SELECT ボタン

入力を選択。

- ボタンを押すごとに、入力が次のように切り換わります。



Setupメニュー「Information」の「Status Display」を「Auto」に設定すると、最初にボタンを押したときにはステータス表示されるだけで、入力は切り換わりません。ステータスが表示されている間(約3秒間)にボタンを押すと入力が切り換わります。

2 MENU/BACK ボタン

メニューが表示されていないとき

メニューを表示

メニューが表示されているとき

一つ前のメニューに戻る

- トップメニュー画面が表示されているときにボタンを押すと、メニュー表示を終了します。

3 Δ /MUTING ボタン

メニューが表示されていないとき

スピーカーの音を消音(ミュート)。

- 解除するには、もう一度ボタンを押します。

メニューが表示されているとき

項目を選択。(上カーソル)

4 ▽ ボタン

項目を選択。(下カーソル)

- メニューを表示していないときに ▽ ボタンを5秒以上押し続けると、設定値がSetupメニューの「Memory」で保存した値に変更されます。

ご注意

このとき変更された設定値は、元に戻すことができません。元の設定値に戻すには、再び各項目を設定しなおしてください。

5 ▷ /VOLUME + ボタン

スピーカーの音量を上げる、または項目を選択。(右カーソル)

6 ◁ /VOLUME - ボタン

スピーカーの音量を下げる、または項目を選択。(左カーソル)

7 〇/I POWER ボタン

モニターをオン/オフ。

- カーソルは、押し続けると連続して動きます。

8 電源LED

消灯 : 電源OFFのとき

緑色の点灯 : 電源ONのとき

オレンジ色の点灯 : スタンバイ

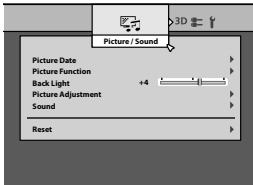
オレンジ色の点滅 : 「Power Save」(省電力モード)が機能しているとき

音声チャンネルの選択

SDI入力で、EMBEDDED AUDIO信号が入力されているとき、スピーカー(L, R)とAUDIO OUT端子から出力する音声チャンネルを選びます。

- あらかじめ音声チャンネルのグループを設定しておく必要があります。(※18ページ Picture/Soundメニュー →「Sound」→「Embedded Audio Group」)
- SDI IN 1/LとSDI IN 2/Rのそれぞれの入力ごとに記憶されます。
- 3D変換中、および DUAL LINK SDI入力のときは、SDI IN1/Lとして動作します。

- 1 MENU/BACKボタンを押す
トップメニュー画面が表示されます。

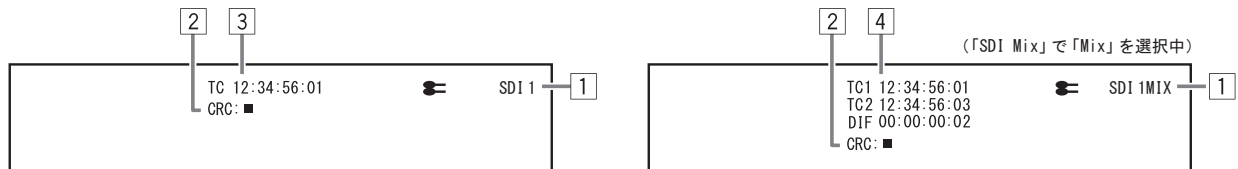


- 2 △▽ ボタンで「Sound」を選ぶ
- 3 ▷ ボタンを押して決定する
- 4 △▽ ボタンで「Embedded Audio L ch」または「Embedded Audio R ch」を選ぶ
- 5 ▷ ボタンを押して決定する
- 6 ◁▷ ボタンで音声チャンネルを選ぶ
 - ボタンを押すごとに、「Embedded Audio Group」の設定に従って音声チャンネルが切り換わります。(※18ページ)
- 7 MENUボタンをくりかえし押す
 - メニュー画面が終了します。

情報表示について

入力に関して、以下の情報が表示されます。

- 情報の表示は、各メニューの設定のオン/オフによって異なります。
- 情報の表示位置は、「Information」の「Position」(※23ページ)で設定します。
- 表示しない項目があるときは、上につめて表示されます。



- 1 入力情報表示
 - 現在選んでいる入力が表示されます。
- 2 CRCエラー表示
 - 「Information」の「CRC Error」が「On」のとき表示されます。(※22ページ 「Setupメニュー」)
 - エラーが発生したときは、赤い四角が表示されます。
- 3 タイムコード
 - 入力信号にタイムコードが含まれていないときは、「TC --:--:--:--」と表示されます。(※23ページ)
- 4 タイムコード(「SDI Mix」で「Mix」を選択中)
 - TC1 : SDI IN 1/L入力信号のタイムコード
 - TC2 : SDI IN 2/R入力信号のタイムコード
 - DIF : TC1を基準としたときのTC2の差分

基本操作（つづき）

■ ステータス表示について

通常時、現在の入力情報が画面の右上に表示されます。

- 3D変換中は、「HDMI 3D」または「SDI 3D」と表示されます。
- 入力情報の表示位置は、「Information」の「Position」で設定することができます。（※23ページ「Setupメニュー」）

「Information」の「Status Display」を「Auto」または「On」に設定すると、次の場合にステータスが表示されます。

- 入力を切り換えたとき
- 3Dフォーマットを切り換えたとき
- 現在選んでいる入力の信号の状態が変わったとき
- 本機の電源をオンにしたとき
- 「Status Display」を「On」に設定したときは、ステータスは全て表示されます。
- ステータスの表示/非表示は、「Information」の「Status Display」で設定することができます。（※23ページ）
- 表示しない項目があるときは、上につめて表示されます。

SDI 1	1
1080/59.94i	2
Low Latency	3
4:2:2 YCbCr 10 bit M	4
3G A-2	5
SbyS-HD-RL Auto	6
Frame Sync.	7
Muting On	8

1 入力情報表示

- 現在選んでいる入力が表示されます。

2 信号フォーマット情報表示

- 表示内容については、30ページの「対応信号フォーマット」および下記の「信号フォーマットについて」をご覧ください。

信号フォーマットについて

入力信号の種類や状態により、下記の内容が表示されます。

HDMI入力で、HDCP対応の信号が入力されたとき

➡ 信号フォーマットの表示の一番後ろに「*」が付きます。

映像信号が入力されていないとき

➡ 「NO SYNC」と表示されます。

本機で対応していない映像信号が入力されたとき

➡ 「Out of range」と表示されます。

Mix3Dモード中に、Mixの動作条件を満たさない信号が入力されたとき

➡ 「Unsupported」と表示されます。

3 Low Latency情報表示

- Low Latency対応信号の入力があり、「Low Latency」が「On」のとき表示されます。（低遅延モードで動作します。）
- Low Latency非対応信号の入力があり、「Low Latency」が「On」のときは表示されません。（通常のモードで動作します。）

4 3G SDI/HDMI/HD SDI DUAL LINK入力時の詳細情報表示

- SDI信号フォーマットのサンプリング構造/色空間/ピクセル分解能またはHDMI信号フォーマットの色空間が表示されます。
- 3G SDI信号またはHD SDI DUAL LINK信号、HDMI信号が入力されたときのみ表示されます。

5 3G SDI信号情報表示

- 3G SDI信号が入力されたときのみ表示されます。

3G A-1:	レベルA	マッピングストラクチャー1
3G A-2:	レベルA	マッピングストラクチャー2
3G A-3:	レベルA	マッピングストラクチャー3
3G A-4:	レベルA	マッピングストラクチャー4
3G B-DS1:	レベルB	データストリーム1
3G B-DS2:	レベルB	データストリーム2
3G B-DUAL:	レベルB	DUAL LINK
3G B-DS1/2:	レベルB	デュアルストリームマッピング(3D変換中)

6 3Dフォーマット表示

- 3DMixモード中は表示されません。
- 3Dメニューの「Single Image」を「Left」または「Right」に設定しているときは、表示されている3Dフォーマットの末尾に「L」または「R」が表示されます。
- HDMI入力で、3Dメニューの「3D Format for HDMI」を「Auto」に設定しているときは、表示されている3Dフォーマットの末尾に「Auto」が表示されます。

7 Frame Sync. の表示

- Mix3Dモードが「On」で、メニューの「Frame Synchronization」が「On」のとき表示されます。

8 MUTING(消音)の設定状態

- 消音時のみ表示されます。（※8ページ）

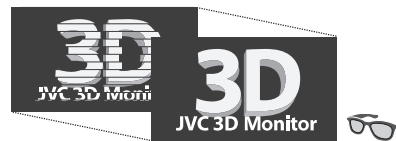
3D について

3D基本原理

本機は、円偏光方式3D液晶モニターです。

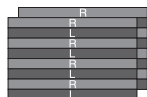
液晶モニターの走査線1ラインおきに偏光特性の異なるフィルターを貼り、フィルターを通過した右目用(右円偏光)と左目用(左円偏光)の映像を円偏光メガネを通して視聴することで、立体視を可能にしています。

1画面上に常に左右の映像が表示されているため、ちらつきのない3D映像表示が得られます。



対応3D映像フォーマット

本機が対応する3Dフォーマットのタイプは、以下の通りです。



ライン・バイ・ライン (LbyL-RL、LbyL-LR)

左目用と右目用の映像を、ラインごとに交互に並べて伝送します。



フレームパッキング (FP-RL、FP-LR)

左目用と右目用の映像を、圧縮せずに伝送します。高解像度のまま伝送することができます。



サイド・バイ・サイド HD

(SbyS-HD-RL、SbyS-HD-LR)

左目用と右目用の映像を、横方向に1/2に圧縮し左右に並べて伝送します。水平解像度は半分に なります。



トップ・アンド・ボトム (TB-RL、TB-LR)

左目用と右目用の映像を、縦方向に1/2に圧縮し上下に並べて伝送します。

垂直解像度が半分になりますが、偏光方式のディスプレイを使用する場合は水平解像度を劣化させずに映し出すことができる3Dミックス映像タイプです。



サイド・バイ・サイド SD

(SbyS-SD-RL、SbyS-SD-LR)

左目用と右目用の映像を、圧縮せずに左右に並べて伝送します。水平解像度はそのままですが、3Dモード時は画面の両サイドが黒く表示されます。

3D視聴時の注意点

- 推奨視聴距離でご使用ください。(推奨視聴距離：正面 約 120 cm)
- 3D 映像を視聴するときは、適切な設定を行なったあと円偏光メガネを掛けてください。
- 3D 映像の感じ方は、個人差があります。あまり近くで視聴すると不快感や異常の原因になります。
- 画面を見る角度によっては、3D の効果に違いが生じる場合があります。
- 体調がすぐれない時は、3D 映像の視聴はお控えください。
- 疲労感や不快感、目の疲労、めまい、吐き気、頭痛などの異常を感じた場合は、直ちに使用を中断し休憩してください。
- 休憩しても症状が改善されない場合は、医師の診察を受けてください。
- 定期的に休憩を取り、長時間の視聴は避けてください。(30 ～ 60 分程度の視聴が目安です。)
- 光過敏の既往症のあるかた、心臓疾患のあるかたは医師にご相談の上、視聴してください。
- 6歳未満のお子様は、視覚の発達段階にあるため、3D 映像の視聴に適さない場合があります。視聴される場合は、保護者が同席してください。
- 3D 映像の視聴画面によってはゴーストのように見えることがありますが、液晶パネルの特性であり故障ではありません。

円偏光メガネ使用時の注意点

- 3D 映像を見るときのみ、円偏光メガネを掛けてください。
- 添付の円偏光メガネ、または RealD ™方式対応の円偏光メガネをご使用ください。
- 普段メガネを掛けているかたは、通常のメガネの上から円偏光メガネを掛けて視聴してください。
- 円偏光メガネをサングラスとして使用しないでください。
- 円偏光メガネの接触する部位にアレルギーが出た場合は医師にご相談ください。

お知らせ

- 円偏光メガネを追加でお求めの際は、RealD ™方式対応の円偏光メガネをご購入いただくか、本機をお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- 2D 映像の視聴画面によっては薄い黒帯が見えますが、液晶パネルの特性であり故障ではありません。

• RealD ™は、米国 RealD ™社の商標です。

3D 映像を見る

本機で3D映像を見るには、以下の2種類の方法があります。それぞれの方法によって、操作手順は異なります。

● 既存の3D映像を入力する場合

既存の3D映像コンテンツを3D映像として表示します。

- 1 SDI IN端子、HDMI端子またはVIDEO IN端子に既存の3D映像を入力する
→ DUAL LINKにも対応しています。
- 2 INPUT SELECTボタンをくりかえし押して、映像を入力している端子を選ぶ
- 3 MENU/BACK ボタンを押して、メニューを表示する
- 4 3Dフォーマットを選択する
→ 3Dメニュー「3D Format For SDI」/「3D Format For HDMI」/「3D Format for VIDEO」から選びます

● 2台のカメラの映像を入力する場合

2台のカメラで撮影した2つの映像(L映像、R映像)をミックスし、3D映像として表示します。

- 1 SDI IN 1/L端子にL映像、SDI IN 2/R端子にR映像を入力する(またはHDMI-1/L端子にL映像、HDMI-2/R端子にR映像を入力する)
→ 3DMIXに対応する、同一フォーマットのL映像とR映像を入力します
(3G SDI レベルBデュアルストリームの場合はSDI IN 1/L端子に、3G SDI レベルB DUAL LINKマッピングの場合はSDI IN 1/L端子とSDI IN 2/R端子に入力します)
- 2 INPUT SELECTボタンを押して、映像を入力している端子を選ぶ
→ HDMI入力の場合は「HDMI 1」、SDI入力または3G SDI レベルBデュアルストリーム入力の場合は、「SDI 1」を選びます
- 3 MENU/BACK ボタンを押して、メニューを表示する
- 4 「Mix 3D」を選ぶ
→ 3Dメニュー「HDMI Mix」/「SDI Mix」から選びます
「HDMI Mix」から選んでいる場合はHDMI 1/L端子、「SDI Mix」から選んでいる場合は、SDI 1/L端子の音声出力されます。

- 円偏光メガネでの視聴に合わせて映像を補正した 3D モードに切り換わります。円偏光メガネをかけて視聴してください。
- 本機で対応していないフォーマットの映像を入力した場合は、3D 表示されません。
- サイド・バイ・サイド方式で映像の中心がずれて見える場合は、3D メニュー「H Position Adjustment」で映像位置を調節してください。
- 垂直方向にスケーリングされる信号フォーマットでライン・バイ・ライン方式の3D 映像を入力する場合は、画面表示を 1 : 1 表示に設定してください。(☞20 ページ)

3D 映像を見る (つづき)

対応3Dフォーマット一覧

● 記載されていない入力信号フォーマットには対応していません。

● SDI 入力 Y/Cb/Cr=4:2:2

INPUT \ OUTPUT			通常表示	3DMix	SbyS-SD	SbyS-HD	LbyL	TB	FP
3G SDI	1080	50i, 59.94i, 60i	○	○	○	○	—	—	—
		23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p, 23.98PsF, 24PsF, 25PsF, 29.97PsF, 30PsF	○	○	○	○	○	—	—
	720	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p	○注1	○注1	○注1	○注1	○注1	—	—
HD SDI	1080	50i, 59.94i, 60i	○	○	○	○	—	—	—
		23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 23.98PsF, 24PsF, 25PsF, 29.97PsF, 30PsF	○	○	○	○	○	—	—
	1035	59.94i, 60i	○	—	—	—	—	—	—
SD SDI	576	50i	○注1	○注1, 注2	○注1	○注1	—	—	—
		59.94i	○注1	○注1, 注2	○注1	○注1	—	—	—
	480	59.94i	○注1	○注1, 注2	○注1	○注1	—	—	—
SDI DUAL LINK	1080	50i, 59.94i, 60i	○	—	○	○	—	—	—
		23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p, 23.98PsF, 24PsF, 25PsF, 29.97PsF, 30PsF	○	—	○	○	○	—	—
analog VIDEO		NTSC, PAL	○注1	—	○注1	○注1	—	—	—
HDMI	1080	50i, 59.94i, 60i	○	○	○	○	—	○注1	○注1
		50p, 59.94p, 60p	○	○	○	○	○	○注1	—
		23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p	○	○	○	○	○	○注1	○注1
	720	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p	○注1	○注1	○注1	○注1	○注1	○注1	○注1
		50i	○注1	○注1, 注2	○注1	○注1	—	—	—
	576	50p	○注1	○注1, 注2	○注1	○注1	○注1	○注1	○注1
		59.94i, 60i	○注1	○注1, 注2	○注1	○注1	—	—	—
	480	59.94p, 60p	○注1	○注1, 注2	○注1	○注1	○注1	○注1	○注1
		VGA@60	○注1	○注1, 注2	○注1	○注1	○注1	—	—
	PC	WVGA@60注2, SVGA@60注2, XGA@60注2, WXGA (1280) @60, QuadVGA@60, SXGA@60, WXGA+@60, WSXGA+@60	○注1	○注1	○注1	○注1	○注1	—	—

注1 Featuresメニューの「Low Latency」を「On」に設定している場合は、対応しません。

注2 Frame Synchronization機能は動きません。

Medical Tool 機能を使う

本機は、内視鏡などの医療用映像の表示を補助する「Medical Tool」機能を搭載しています。(E3 17ページ)

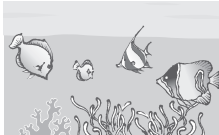
- この機能は簡易的なものであり、正規の医療規格を満たすものではありません。

Mask

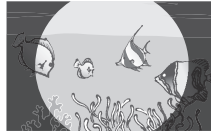
内視鏡などの映像の、範囲や大きさなどを調節することができます。

● Mask

画面の中央部分だけを円形にトリミングして表示します。



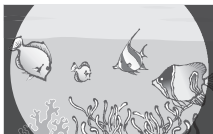
通常の画面



Mask機能を使用した画面

● Size

Mask機能で表示する円形部分の大きさを調節します。



大きく表示した場合の画面



小さく表示した場合の画面

● Transparent

Mask機能で表示している円形の外側部分の透明度を調節します。

Contrast Enhancer*

映像のエッジコントラストを改善することができます。

● Contrast Enhancer

映像のエッジコントラストを調整します。

● Contrast Enhancer Level

エッジコントラスト調整のレベルを5段階から選びます。

Color Control*

選んだ範囲の映像の色の濃さや位相などを調節することができます。

● Color1/Color2

以下のメニューの1で調節した値を「Color1」に、2で調節した値を「Color2」に保存します。

● Color1 Angle/Color2 Angle

映像の色を調節する範囲の中心角を設定します。

● Color1 Range/Color2 Range

映像の色を調節する範囲を設定します。

● Color1 Gain/Color2 Gain

設定した範囲内の色の濃さを調節します。

● Color1 Tint/Color2 Tint

設定した範囲内の位相を調節します。

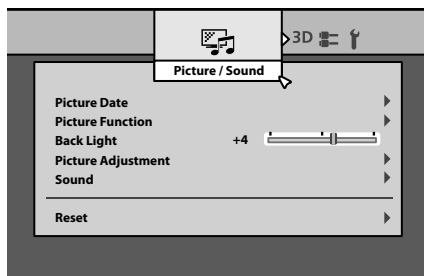
* Featuresメニューの「Low Latency」が「On」のときは、選ぶことができません。

メニューの設定

メニューの操作

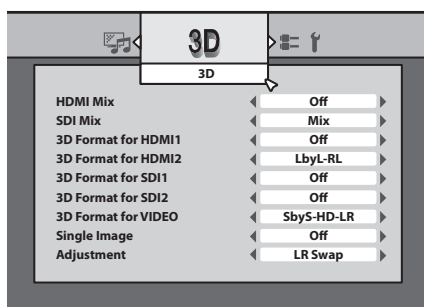
1 MENU/BACKボタンを押す

- トップメニュー画面が表示されます。



トップメニュー画面

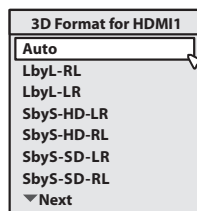
2 ◀▶ ボタンで大項目を選ぶ



(例)大項目「3D」を選んだとき

3 △▽ ボタンで中項目を選ぶ

- 項目によっては、サブメニューが表示されます。



△▽ ボタンで項目を選択し、▶ ボタンで決定します。

- メニューの一番下の「▼Next」を選択すると、つづきのメニューが表示されます。



◀▶ ボタンで値を決定し、MENU/BACK ボタンで前のメニューに戻ります。

4 ◀▶ ボタンで小項目または設定値を選ぶ

- 項目によっては、小項目を選択するサブメニューが表示されます。
- 項目によっては、確認のメッセージが表示されます。
- 一つ上のメニューに戻るには、MENU/BACK ボタンを押します。

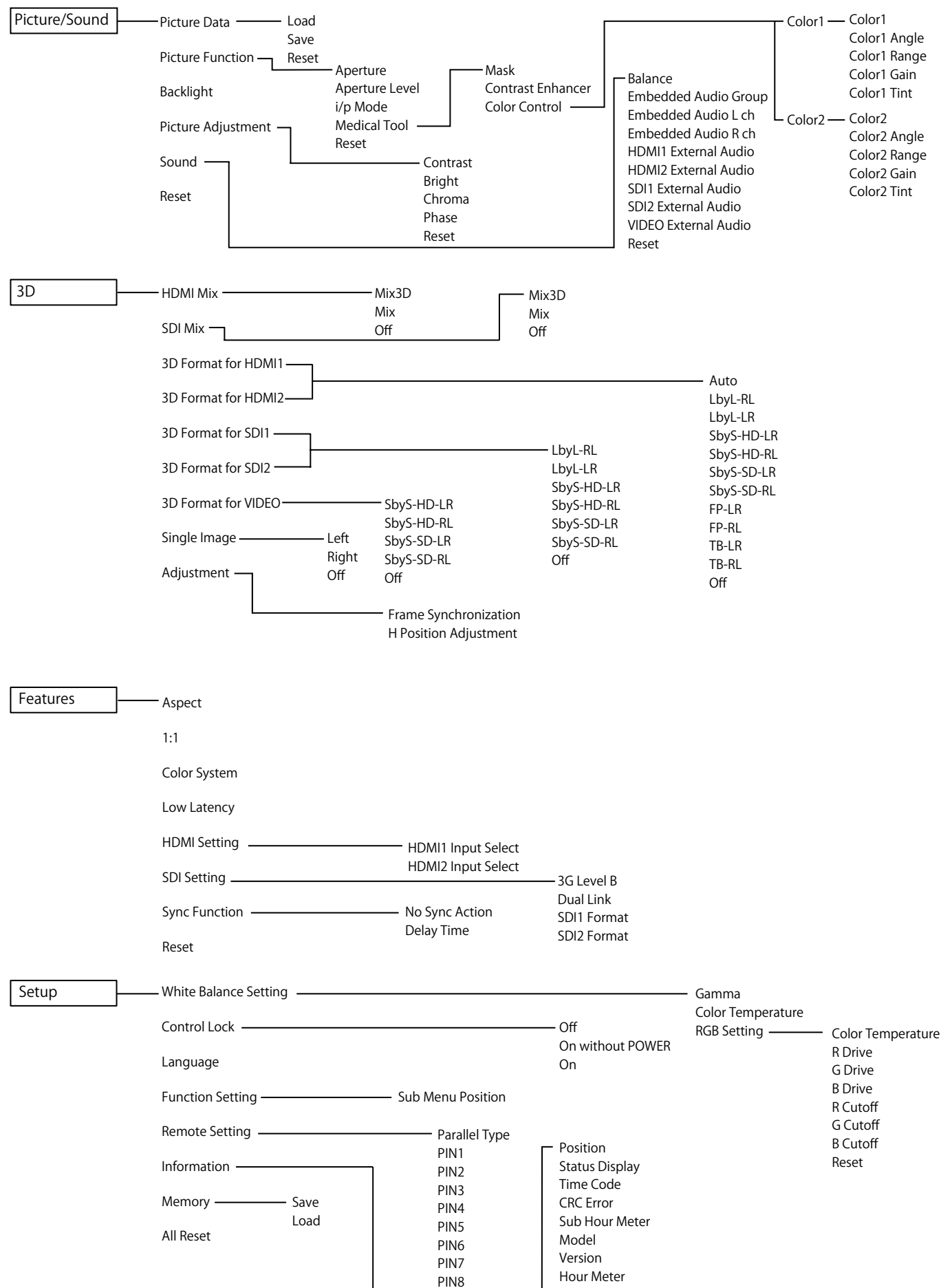
5 MENU/BACKボタンを押して、メニューの操作を終了する

- メニューの表示が消えるまで、MENU/BACKボタンをくり返し押します。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

メニューの設定 (つづき)

メニューの遷移図



メニュー項目一覧

- 「項目名」「設定値」内の太字は、初期値を表しています。
- 大項目以外の項目・設定は、入力ごとに記憶されます。

Picture/Sound メニュー

Picture Data

「Picture Function」「Back Light」「Picture Adjustment」「Color temperature」で設定した値の保存・呼び出し

項目名	内容	設定値1	設定値2
Load	保存した設定値の呼び出し	Data1, Data2, Data3, Data4, Data5	Yes, No
Save	設定した値を保存		
Reset	保存した設定値をお買い上げ時の状態に戻す	Yes, No	

Picture Function

画質を向上させるための設定

項目名	内容			設定値	
Aperture	「Aperture Level」で設定される値のオン/オフ			On, Off	
Aperture Level	RGB各色の周波数特性を同時に補正			1～10	
i/p Mode	入力映像に応じてスキャンモードを選択			Normal , Film, Field	
Medical Tool	医療用の画質補助機能				
	Mask	Mask	画像の円形トリミングをオン/オフ	On, Off	
		Size	トリミングのサイズ調節	1 ～ 100	
		Transparent	マスク部分の透明度の調節	Off, Low, Middle , High	
	Contrast Enhancer	Contrast Enhancer	エッジコントラスト改善機能のオン/オフ	On, Off	
		Contrast Enhancer Level	エッジコントラスト改善機能のオン時のレベル調節	1 ～ 5	
	Color Control	Color1	Color1	Color1の設定をオン/オフ	On, Off
			Color1 Angle	調節する範囲の中心を設定	0 ～ 360
			Color1 Range	中心から調節する範囲を設定	0 ～ 360
			Color1 Gain	設定した範囲の色の濃さを調節	0 ～ 255
			Color1 Tint	設定した範囲の位相を調節	-128 ～ 0 ～ +127
		Color2	Color2	Color2の設定をオン/オフ	On, Off
			Color2 Angle	• 内容、設定値は「Color1」と同じです。	
			Color2 Range		
			Color2 Gain		
	Color2 Tint				
Reset	「Picture Function」の設定をお買い上げ時の状態に戻す			Yes, No	

Backlight

設定値：-20 ～ +20

バックライトの明るさを調節

メニューの設定 (つづき)

Picture Adjustment

映像の明るさコントラストなどを調節

項目名	内容	設定値
Contrast	画面の明るい部分のレベルを調節する	-128 ~ 0 ~ +127
Bright	黒レベルを調節する	-128 ~ 0 ~ +127
Chroma	色の濃さを調節する	-128 ~ 0 ~ +127
Phase	色の位相を調整する	-90 ~ 0 ~ +90
Reset	「Picture Adjustment」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

Sound

音量バランス、Embedded Audio信号についての設定

項目名	内容	設定値
Balance	左右のスピーカーの音量バランスを調節	L10 ~ 0 ~ 10R
Embedded Audio Group	Embedded Audio信号の音声チャンネルグループを選択 設定値と、各設定で選べるEMBEDDED AUDIOの音声チャンネルは以下のとおりです。(GはGROUPのGです) 1G : チャンネル1/2/3/4/1+2/3+4/1~4(1G) 2G : チャンネル5/6/7/8/5+6/7+8/5~8(2G) 1-2G : チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/1+2/3+4/5+6/7+8/ 1~4(1G)/5~8(2G)/1~8(1G+2G) 3G : チャンネル9/10/11/12/9+10/11+12/9~12(3G) 1-3G : チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/1+2/3+4/ 5+6/7+8/9+10/11+12/1~4(1G)/5~8(2G)/ 9~12(3G)/1~8(1G+2G)/1~12(1-3G) 4G : チャンネル13/14/15/16/13+14/15+16/ 13~16(4G) 1-4G : チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/ 15/16/1+2/3+4/5+6/7+8/9+10/11+12/13+ 14/15+16/1~4(1G)/5~8(2G)/9~12(3G)/13~ 16(4G)/1~8(1G+2G)/1~12(1-3G)/1~16(1-4G)	1G, 2G, 1-2G, 3G, 1-3G, 4G, 1-4G
Embedded Audio Lch	SDI IN 1/L端子に入力したSDI Embedded Audio信号の音声チャンネルおよび音声チャンネルグループの出力設定	1~16, 1+2, 3+4, 5+6, 7+8, 9+10, 11+12, 13+14, 15+16, 1G, 2G, 3G, 4G, 1G+2G, 1G+2G+3G, 1G+2G+3G+4G
Embedded Audio Rch	SDI IN 2/R端子に入力したSDI Embedded Audio信号の音声チャンネルおよび音声チャンネルグループの出力設定	1~16, 1+2, 3+4, 5+6, 7+8, 9+10, 11+12, 13+14, 15+16, 1G, 2G, 3G, 4G, 1G+2G, 1G+2G+3G, 1G+2G+3G+4G
HDMI 1 External Audio	HDMI-1/L端子の音声信号を選択	Auto, On, Off
HDMI 2 External Audio	HDMI-2/R端子の音声信号を選択	Auto, On, Off
SDI 1 External Audio	SDI IN 1/L端子の音声信号を選択	Auto, On, Off
SDI 2 External Audio	SDI IN 2/R端子の音声信号を選択	Auto, On, Off
VIDEO External Audio	VIDEO IN端子の音声信号を選択	On, Off
Reset	「Sound」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

- Autoを選んだときは、HDMIのPCM音声信号または、SDIのEMBEDDED音声信号を優先します。HDCP認証処理中はアナログ音声出力されません。
- Onを選んだときは、External音声信号となります。

Reset

設定値 : Yes, **No**

Picture/Soundメニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す

3D メニュー

HDMI Mix

HDMI入力の3DMixモードを設定

項目名	内容
Mix 3D	HDMI-1/L端子とHDMI-2/R端子の入力映像を3DMixして3D表示
Mix	HDMI-1/L端子とHDMI-2/R端子の入力映像をSbyS-LRのフォーマットで2D表示
Off	3DMixモードをオフにする

SDI Mix

SDI入力の3DMixモードを設定

項目名	内容
Mix 3D	SDI IN 1/L端子とSDI IN 2/R端子の入力映像を3DMixして3D表示
Mix	SDI IN 1/L端子とSDI IN 2/R端子の入力映像をSbyS-LRのフォーマットで2D表示
Off	3DMixモードをオフにする

3D Format for HDMI 1

HDMI-1/L入力の3Dフォーマットを設定

項目名	内容
Auto	信号を自動で判別
LbyL-RL	ライン・バイ・ライン入力、1ライン目がR映像
LbyL-LR	ライン・バイ・ライン入力、1ライン目がL映像
SbyS-HD-LR	水平圧縮したサイド・バイ・サイド入力、左側にL映像
SbyS-HD-RL	水平圧縮したサイド・バイ・サイド入力、左側にR映像
SbyS-SD-LR	非圧縮のサイド・バイ・サイド入力、左側にL映像
SbyS-SD-RL	非圧縮のサイド・バイ・サイド入力、左側にR映像
FP-LR	フレーム・パッキング入力、最初の表示がL映像
FP-RL	フレーム・パッキング入力、最初の表示がR映像
TB-LR	トップ・アンド・ボトム入力、上側にL映像
TB-RL	トップ・アンド・ボトム入力、上側にR映像
Off	3D表示をオフ

3D Format for HDMI 2

HDMI-2/R入力の3Dフォーマットを設定

- 項目、内容、設定値は「3D Format for HDMI 1」と同じです。

3D Format for SDI 1

SDI IN 1/L入力のフォーマットを設定

項目名	内容
LbyL-RL	ライン・バイ・ライン入力、1ライン目がR映像
LbyL-LR	ライン・バイ・ライン入力、1ライン目がL映像
SbyS-HD-LR	水平圧縮したサイド・バイ・サイド入力、左側にL映像
SbyS-HD-RL	水平圧縮したサイド・バイ・サイド入力、左側にR映像
SbyS-SD-LR	非圧縮のサイド・バイ・サイド入力、左側にL映像
SbyS-SD-RL	非圧縮のサイド・バイ・サイド入力、左側にR映像
Off	3D表示をオフ

3D Format for SDI 2

SDI IN 2/R入力の3Dフォーマットを設定

- 項目、内容、設定値は「3D Format for SDI 1」と同じです。

メニューの設定（つづき）

3D Format for VIDEO

VIDEO IN入力の3Dフォーマットを設定

項目名	内容
SbyS-HD-LR	水平圧縮したサイド・バイ・サイド入力、左側にL映像
SbyS-HD-RL	水平圧縮したサイド・バイ・サイド入力、左側にR映像
SbyS-SD-LR	非圧縮のサイド・バイ・サイド入力、左側にL映像
SbyS-SD-RL	非圧縮のサイド・バイ・サイド入力、左側にR映像
Off	3D表示をオフ

Single Image

3Dフォーマット映像の出力設定

項目名	内容
Left	設定した3DフォーマットでL映像のみを表示
Right	設定した3DフォーマットでR映像のみを表示
Off	設定した3DフォーマットでL映像とR映像を表示(通常の3D表示)

Adjustment

3DMixモード時の各種調整

項目名	内容	設定値
Frame Synchronization	HDMI-1/LまたはSDI IN1/L入力に合わせて左右の信号を同期 • 対応できる信号フォーマットには制限があります。 • 本機でのタイムベース修正はできません。厳密に3D映像を撮影するには、映像機器側でGENLOCKを行い、本機のFrame Synchronization. 設定は「Off」にしてください。 • 「On」設定時は、「Off」設定時に比べて1フレームのディレイが発生します。	On, Off
H Position Adjustment	サイド・バイ・サイド方式の映像のセンター位置調節	-30 ~ 0 ~ +30

Features メニュー

Aspect 設定値：16:9, 4:3

表示映像のアスペクト比(画面の縦横比)を設定

- 1:1 表示のときは動きません。
- 「3D」メニューの「HDMI Mix」または「SDI Mix」で「Mix」を選択しているときは動作しません。

1:1 設定値：On, Off

入力信号の解像度と同じ解像度(等倍)で映像を表示

- 入力信号によって、アスペクト比が変わることがあります。
- 「3D」メニューの「HDMI Mix」または「SDI Mix」で「Mix」を選択しているときは動作しません。

Color System 設定値：Auto, PAL, NTSC

VIDEO信号のカラーシステムを設定

Low Latency 設定値：On, Off

入力された映像が表示されるまでの遅延時間を短くする機能をオン/オフ

- 対応できる信号フォーマットには制限があります。

HDMI Setting

HDMI入力の信号形式の設定

項目名	内容	設定値
HDMI1 Input Select	HDMI-1/Lの信号形式を選択	Auto, Component, RGB
HDMI2 Input Select	HDMI-2/Rの信号形式を選択	

SDI Setting

SDI入力の信号形式の設定

項目名	内容	設定値
3G Level B	3G SDI LEVEL B入力時、多重処理された二つのHD SDI信号から表示させたいデータストリームを選択	DS1 , DS2
Dual Link	SDI信号のDUAL LINK機能をオン/オフ <ul style="list-style-type: none"> 設定を「On」にしておくと、「Dual Link」とステータスが表示されます。 (※10ページ「3G SDI/HD SDI DUAL LINK入力時の詳細情報表示」) DUAL LINK SDI以外のSDI信号入力時は、設定を「Off」にしてください。 	On, Off
SDI1 Format	SDI IN 1/L端子またはSDI IN 2/R端子のSDI DUAL LINK入力時の信号形式の設定	Auto , MS1 YCbCr, MS2 YCbCr, MS3 YCbCr, MS4 YCbCr, MS2 RGB, MS3 RGB, 3G-B-DS
SDI2 Format	<ul style="list-style-type: none"> 「Auto」に設定すると、信号を自動判別します。(通常は「Auto」に設定します) 「Auto」で映像が正しく映らない場合は、入力信号に合わせて選択してください。 「Auto」以外を選択している場合は、ステータス表示に「M」が追加表示されます。 	

Sync Function

信号との同期についての設定

項目名	内容	設定値
No Sync Action	入力信号がないときの動作を設定 Standby : モニターオフ(スタンバイ) Power Save : 省電力モード Gray Back : 灰色画面 Off : 機能を使用しない <ul style="list-style-type: none"> 「No Sync Action」を「Gray Back」にすると、画面が灰色になり、バックライトの消費電力が半減します。「Power Save」(省電力モード)にすると、バックライトをオフにして、消費電力をさらに抑えます。 HDMI機器を接続する場合は、接続機器のCECをOFFに設定してください。 	Standby Power Save Gray Back Off
Delay Time	入力信号がなくなってから、「No Sync Action」で設定した動作に切り換わるまでの時間を設定	30 sec., 5 min., 15 min.

- お買い上げ時の設定は、「No Sync Action」が「Power Save」、「Delay Time」が「15 min.」になっています。
省電力設定が不要な場合は変更してください。

Reset

設定値 : Yes, **No**

Featuresメニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す

メニューの設定（つづき）

Setup メニュー

White Balance Setting

ガンマ補正值、色温度の選択と、R/G/Bのドライブレベル、カットオフ点を調節

項目名	内容	設定値
Gamma	ガンマ補正值を選択 DICOM SIM.: レントゲンなどの医療用画像の表示に適した設定です。 この設定は簡易的なものであり、正規の医療用規格を満たすものではありません	2.2 , DICOM SIM., Preset
Color Temperture	色温度を選択 • 3Dモードのときは色温度が補正されます。	9300K, 6500K , User
RGB Setting	色温度の選択と、R/G/Bのドライブレベル、カットオフ点を調節	
Color Temperture	色温度を選択 • 3Dモードのときは色温度が補正されます。	9300K, 6500K , User
R Drive	赤(R)、緑(G)、青(B)のドライブレベルを調節	-512 ~ 0 ~ +511, Min, Max
G Drive		
B Drive		
R Cutoff	赤(R)、緑(G)、青(B)のカットオフ点を調節	
G Cutoff		
B Cutoff		
Reset	「Color Temperture」で選択されている色温度の「R Drive」～「B Cutoff」の項目の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	Yes, No

Control Lock

本機の操作ができないように設定

項目名	内容
Off	機能を使用しない
On without Power	Power以外のキー操作を無効にする
On	本機のすべてのキー操作を無効にする • 安全確保のため、POWERボタンを5秒以上押し続けると電源を切ることができます。 再度電源を入れる時もPOWERボタンを5秒以上押し続けてください。(モニター異常時にご使用ください。)

- 解除するには、◀ ボタンを押しながら ▽ ボタンを押してトップメニューを表示し、「Control Lock」を「Off」に設定します。
- 「Control Lock」を「On」または「On without Power」に設定すると、「Control Lock」の解除以外の操作はできません。解除以外の操作をすると、画面に「Control lock on!」と表示されます。

Language

設定値: **English**, Deutsch, Français, Español, Italiano, Русский

OSDで使用する言語を選択

Function Setting

サブメニュー表示の設定

項目名	内容	設定値
Sub Menu Position	サブメニューの表示位置を選択	Upper , Lower

Remote Setting

外部制御に関する設定

項目名	内容	設定値
Parallel Type	MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択	Make , Trigger, Key, Set
PIN 1	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を「PIN1」に割り当て <ul style="list-style-type: none"> 割り当ては上記の「Parallel Type」で「Set」を選んで行ないます。 「Parallel Type」が「Key」のときは、「Power」が割り当てられます。 「Power」はTrigger制御またはKey制御で制御可能です。 	---, Power, Aspect, Status, 1:1, i/p Mode, HDMI1, HDMI2, SDI1, SDI2, VIDEO, HDMI Mix, SDI Mix, Muting
PIN 2	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を「PIN2」～「PIN6」に割り当て <ul style="list-style-type: none"> 「Parallel Type」が「Key」のときは、下記のように割り当てられます。 「PIN2」→「Input」 「PIN3」→「Menu」 「PIN4」→「Up」 「PIN5」→「Down」 「PIN6」→「Left」 	---, Aspect, Status, 1:1, i/p Mode, HDMI1, HDMI2, SDI1, SDI2, VIDEO, HDMI Mix, SDI Mix, Muting
PIN 3		
PIN 4		
PIN 5		
PIN 6		
PIN 7	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を「PIN7」に割り当て <ul style="list-style-type: none"> 「Parallel Type」が「Key」のときは、「Right」が割り当てられます。 	Enable , ---, Aspect, Status, 1:1, i/p Mode, HDMI1, HDMI2, SDI1, SDI2, VIDEO, HDMI Mix, SDI Mix, Muting
PIN 8	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ「GND」が割り当てられています。変更することはできません。 	

Information

本機の情報の表示に関する設定

項目名	内容	設定値1	設定値2
Position	情報を表示させる位置を設定(☞9ページ「情報表示について」)	Upper , Lower	
Status Display	現在選んでいる入力ステータスとMuting(消音)の設定状態の表示/非表示を設定(☞10ページ「ステータス表示について」)	Off, On, Auto	
Time Code	タイムコードの表示種類を選択	Off , VITC, LTC, D-VITC	
CRC Error	HD SDI信号入力時のCRCエラーの表示/非表示を設定(☞9ページ「情報表示について」)	Off , On	
Sub Hour Meter	使用時間を表示(単位:時間) <ul style="list-style-type: none"> 使用時間は、リセットして0に戻すことができます。 	Clear	Yes, No
Model	本機の型名を表示		
Version	本機のバージョンを表示		
Hour Meter	合計使用時間を表示(単位:時間) <ul style="list-style-type: none"> 本機の保守の際に確認します。合計使用時間はリセットできません。 		

Memory

現在の設定値を保存したり、すでに保存されている設定値を呼び出す

項目名	内容
Save	現在のユーザー設定値の全てを保存します。
Load	設定値を保存した値に変更します。

- メニューを表示していないときに ▽ ボタンを5秒以上押し続けると、設定値が保存した値に変更されます。

All Reset

設定値: Yes, No

現在の設定値をすべてお買い上げ時の設定に戻す

外部制御

外部制御の概要

本機は、以下の外部制御ができます。

- **MAKE/TRIGGER端子 (RJ-45)** : 以下の3種類の制御方式から選びます。

① MAKE(メイク接点)方式

ピンを短絡(GNDとショート)または、開放(端子オープン)することで機能を制御します。

② TRIGGER(トリガー)方式

ピンに瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。

☞ 下記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」

② Key制御

key制御は、トリガー方式で動作します。

本体サイドボタンの操作を外部から制御します。

外部制御中、同時に本体サイドボタンでの操作が可能です。

- **RS-422端子 (D-sub 9ピン)** : RS-422方式で本機を制御します。
(☞ 25ページ「シリアル方式での外部制御」)

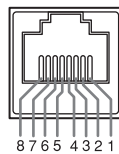
MAKEまたはTRIGGER方式を使用する場合は、Setupメニュー「Remote Setting」の「Parallel Type」を「Make」または「Trigger」に設定してください。(☞ 23ページ)

- 「Control Lock」(☞ 22ページ)が「On」または「On without Power」のときも、外部制御できます。
- 外部制御用の制御機器については、別途製作する必要があります。

MAKE/TRIGGER方式での外部制御

MAKE/TRIGGER端子のピン配列と、各ピンの名前は以下のとおりです。1番ピンから7番ピンの機能は、Setupメニューの「Remote Setting」で割り当てることができます。(☞ 23ページ)

1. 8番ピンの機能は、GND固定です。
2. 7番ピンの設定で、3線制御または2線制御が選べます。
 - 3線制御 : Enable端子が短絡しているときのみ外部制御が有効になります。
 - 2線制御 : 「Parallel Type」が「Make」または「Trigger」のとき、外部制御端子の状態が即時反映されます。



端子はメスです。

ピン番号	名前
1	PIN1
2	PIN2
3	PIN3
4	PIN4
5	PIN5
6	PIN6
7	PIN7
8	GND

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法は、15ページをご覧ください。

1. セットアップメニューの「Remote Setting」を選ぶ
2. 「Parallel Type」を「Set」に設定する
3. 割り当てたい端子(「PIN1」～「PIN7」)を選び、機能を割り当てる
割り当てられる機能については、23ページおよび下記の一覧表をご覧ください。

外部制御の操作

7番ピンを「Enable」に設定している場合

1. セットアップメニューの「Remote Setting」で「Parallel Type」を「Make」または「Trigger」に設定する
2. 7番ピンを8番ピンに短絡して外部制御を有効にする
3. MAKE方式の場合 : 各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御する
TRIGGER方式の場合 : 各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作(パルス制御)で制御する

7番ピンを「Enable」以外に設定している場合

上記手順3から操作してください。

- MAKE方式での制御中に入力を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換えたい入力のピンを有効にしてください。
- TRIGGER方式では、複数のピンを一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能

ID	機能名	制御する機能	開放	短絡
0	---	機能なし	—	—
1	Power	電源のオン/オフ ^{注1}	—	—
2	Aspect	「Aspect」の切換	4:3	16:9
3	Status	ステータス表示のオン/オフ ^{注2}	オフ	オン
4	1:1	「1:1」の切換	Normal	1:1
5	i/p Mode	「i/p Mode」の切換 ^{注3}	—	—
6	HDMI1	入力をHDMI-1/Lに切換	無効	有効
7	HDMI2	入力をHDMI-2/Rに切換	無効	有効
8	SDI1	入力をSDI IN1/Lに切換	無効	有効
9	SDI2	入力をSDI IN2/Rに切換	無効	有効
10	VIDEO	入力をVIDEO INに切換	無効	有効
11	HDMI Mix	「HDMI Mix」の「3D Mix」のオン/オフ	オフ	オン
12	SDI Mix	「SDI Mix」の「3D Mix」のオン/オフ	オフ	オン
13	Muting	Mutingのオン/オフ	オフ	オン
14	Enable	Enableポートの切換	リモート無効	リモート有効

^{注1} TRIGGER方式で制御してください。(MAKE方式では制御できません)

^{注2} 現在選んでいる入力のINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報が表示されます。(☞ 10ページ「ステータス表示について」)
MAKE方式で制御しているときは、短絡した瞬間のみ表示されます。

^{注3} TRIGGER方式で制御してください。「Normal」→「Film」→「Field」の順番でモードが切り換わります。(MAKE方式では制御できません)

- 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
- TRIGGER方式の場合、約1秒間短絡して開放する操作により、設定が交互に切り換わります。

シリアル方式での外部制御

RS-422端子を使って、本機を制御します。

※制御仕様の詳細は、サービス窓口にお問い合わせください。

<通信仕様>

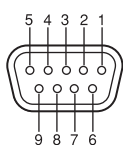
● ケーブル

D-sub9ピン型コネクタのストレートケーブル(モニター側:オス、制御機器側:制御機器に合わせた形状およびピンアサイン)

● 通信仕様

ボーレート: 4800 bps
データ長: 8ビット
パリティ: なし
ストップビット: 1ビット
フロー制御: なし
通信コード: ASCIIコード

● 端子の仕様



端子はメスです。

ピン番号	信号
1	GND
2	TXD-
3	RXD+
4	GND
5	GND
6	GND
7	TXD+
8	RXD-
9	GND

<コマンド概要>

すべてのコマンドは、以下のフォーマットで形成されています。

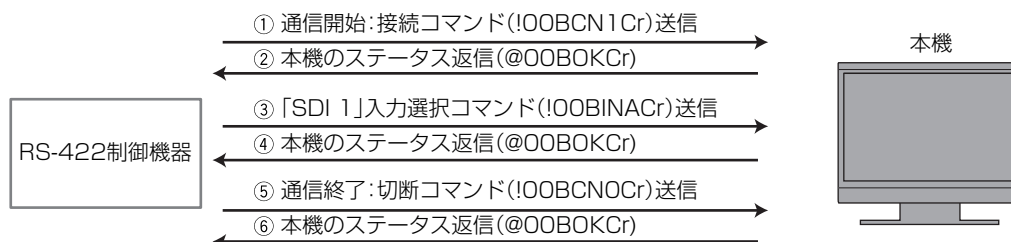
ヘッダー	本機のID	コマンドID	コマンド内容	データ内容	Cr(0Dh)
------	-------	--------	--------	-------	---------

● ヘッダーについて

- 「!」: RS-422制御機器から本機への制御。詳しくは、<基本コマンド一覧> (P.26ページ)をご覧ください。
「?」: RS-422制御機器から本機への問い合わせ
「@」: 本機からRS-422制御機器への返信

通信開始時には接続コマンド、通信終了時には切断コマンドが必要です。

● 通信例



外部制御（つづき）

<基本コマンド一覧>

No.	コマンド	機能	データ内容
1	! * * ^{注1} B C N 1 Cr	通信開始(接続)	なし
2	! * * ^{注1} B C N 0 Cr	通信終了(切断)	なし
3	! * * ^{注1} B O K Cr	正常受信ステータス	なし
4	! * * ^{注1} B I D S E T x x ^{注2} Cr	個別制御IDの割付	01~99
5	! * * ^{注1} B I D R E T Cr	個別制御IDの初期化	なし
6	! * * ^{注1} B M E N U Cr	メインメニューの表示/メニュー操作の終了	なし
7	! * * ^{注1} B U P Cr	項目選択(Δ)	なし
8	! * * ^{注1} B D O W N Cr	項目選択(▽)	なし
9	! * * ^{注1} B A D J R Cr	設定・調整(▷)	なし
10	! * * ^{注1} B A D J L Cr	設定・調整(◁)	なし
11	! * * ^{注1} B P W 1 Cr	本機の電源をオン	なし
12	! * * ^{注1} B P W 0 Cr	本機の電源をオフ	なし
13	! * * ^{注1} B I N A Cr	「HDMI-1/L」入力選択	なし
14	! * * ^{注1} B I N B Cr	「HDMI-2/R」入力選択	なし
15	! * * ^{注1} B I N C Cr	「SDI IN1/L」入力選択	なし
16	! * * ^{注1} B I N D Cr	「SDI IN2/R」入力選択	なし
17	! * * ^{注1} B I N E Cr	「VIDEO IN」入力選択	なし
18	! * * ^{注1} B V O L x x ^{注2} Cr	音量を指定する	00~31
19	! * * ^{注1} B V P L S Cr	音量を上げる	なし
20	! * * ^{注1} B V M N S Cr	音量を下げる	なし
21	! * * ^{注1} B A M U T E x x ^{注2} Cr	消音	00:オフ 01:オン

- 「Cr」は0Dhです。
- 通信開始(接続)コマンド(No.1)、通信終了(切断)コマンド(No.2)、モニターをオンにするコマンド(No.11)は、本機がオフ(スタンバイ)のときも通信できます。

注1 「*」には、本機のIDを入力します。本機のIDの初期設定は「00」です。モニターを複数台接続している場合、「00」は一括制御コマンドになります。

注2 「xx」にはデータ内容を入力します。

困ったときは

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	こうしてください	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンをオンにしてください。 ● 電源プラグを確実に差し込んでください。 	8 7
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● INPUT SELECTボタンで正しい入力を選んでください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 ● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 	8 7 — 30
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を調節してください。 ● 消音を解除してください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 ● Picture/Soundメニューの「Sound」の各項目を調節してください。 	8,18 8 7 — 18
「Out of range」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 ● 接続機器がスタンバイの時に表示される場合があります。CEC設定をOFFにしてください。 	30
「NO SYNC」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● INPUT SELECTボタンで正しい入力を選んでください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、映像信号を出力してください。または、接続機器の映像出力環境を確認してください。 	8 7 —
色がおかしい/色がつかない	<ul style="list-style-type: none"> ● Picture/Soundメニューの「Picture Adjustment」の各項目を調節してください。または設定を初期化してください。 ● Setupメニューの「White Balance Setting」の各項目を調節してください。または設定を初期化してください。 	18 22
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ● Picture/Soundメニューの「Picture Adjustment」の項目で「Bright」や「Contrast」を調節してください。 	18
映像の位置がずれている、映像のサイズが合っていない 信号によっては、映像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合は確実な対応のしかたがありません。あらかじめご了承ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● Featuresメニューの「1:1」の設定を確認してください。 ● Featuresメニューの「Aspect」の設定を確認してください。 ● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 	20 20 30
メニューで選択できない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> ● 選択している入力や信号フォーマットにより使用できない項目は、メニューで選択できません。入力や信号フォーマットを切り換えてください。 ● MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューで選択できません。 	— 24
本機で操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● Setupメニューの「Control Lock」を「Off」に設定してください。 ● MAKE方式で外部制御している機能は、本機からは操作出来ません。外部制御を無効にしてください。 	22 24
3D映像にならない	<ul style="list-style-type: none"> ● 3Dメニュー → 「HDMI Mix」または「SDI Mix」で「Mix 3D」を選んでください。 ● 3Dメニュー → 「3D Format for HDMI」、「3D Format for SDI」または「3D Format for VIDEO」で、3D映像フォーマットを切り換えてください。 	18 19,20
3D映像が不自然に見える	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像信号の入力設定を確認してください。または、接続機器の映像信号の出力設定を確認してください。 ● 3Dメニュー → 「3D Format for HDMI」、「3D Format for SDI」または「3D Format for VIDEO」で、3D映像フォーマットを切り換えてください。 	13 19,20

● こんなときは故障ではありません

- 静止画を長時間表示していると、映像を切り換えても前の映像がぼんやりと映っていること(残像)がありますが、しばらくすると消えます。また、表示する時間によっては、残像が長期にわたる場合があります。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。
 - ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる。
 - 本機の天面や背面の一部が熱くなっている。
 - 本機から「ミシッ」という音がする。
 - 本機の内部から動作音が聞こえる。

困ったときは（つづき）

■ 自己診断表示について

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、LEDで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。

LEDが点滅したら、次の手順でお買い上げ販売店にご相談ください。



画面が消え、LEDが点滅したら...

- 1 LEDが何色に/どのように点滅しているかを確認する
- 2 電源/待機ボタンを押して本機の電源をオフにする
- 3 電源コードを抜く
- 4 お買い上げ販売店に点滅していたLEDを知らせる

- 電源を切った後、すぐに電源を入れると、LEDが点滅し、映像が映らないことがあります(瞬間的な停電も含みます)。このような場合は、一度電源を切り、10秒以上待ってから再び電源を入れてください。LEDが点滅しなければ、そのままご使用ください。
- 電源LEDがオレンジ色に点滅しているときは、「Power Save」(省電力モード)が機能しており、異常ではありません。

仕様

一般

型名	GD-323D20
種類	3D 液晶モニター
画面サイズ	32V型ワイド
アスペクト比	16:9
対応映像信号フォーマット	■30ページ「対応信号フォーマット」
適用規格	3G SDI : SMPTE424M/SMPTE425M DUAL LINK HD SDI : SMPTE372M HD SDI : BTA S-004C、SMPTE292M SD SDI : ITU-R BT.656: 525/625 SMPTE259M: 525 EMBEDDED AUDIO : SMPTE299M、SMPTE272M
音声出力	内部スピーカー: 1.0 W + 1.0 W
動作使用条件	温度 5℃～35℃ 湿度 20%～80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)
使用電源	DC 27 V(電圧範囲: DC 23.5 V ～ DC 29 V)
定格電流	2.5 A (DC 27V のとき)
ACアダプター	AC100 V - 240V、1.63A、50Hz/60Hz
外形寸法(突起部除く)	横幅: 79.1 cm 79.1 cm 高さ: 57.3 cm 52.05 cm 奥行: 23 cm 10.4 cm (スタンドを含む) (本体のみ)
質量	14.4 kg(スタンドを含む) 13.2 kg(本体のみ)
付属品	電源コード(3極)×1、ACアダプター×1、スタンドベース×1、スタンドブラケット×1、 ネジ(スタンド組み立て・取り付け用)×8、HDMI 1、2用ケーブルクランプ×3、 円偏光メガネ×2(3D視聴用:保証対象外)

液晶パネル

種類	32型ワイド、アクティブマトリックス TFT
有効画面寸法	横幅: 69.8 cm 高さ: 39.3 cm 対角: 80.1 cm
表示画素数(解像度)	1920×1080ピクセル
表示色数	約1677万色
コントラスト比(標準値)	3500:1

入出力端子

映像	HDMI-1/L	HDMI信号入力(HDCP対応、音声 2ch PCM対応): HDMIコネクタ×2
	HDMI-2/R	
	E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI (IN 1/L)	デジタル信号入力(EMBEDDED AUDIO/DUAL LINK信号対応): 自動検知、2系統、BNCコネクタ×2
	E. AUDIO 3G SDI/HD SDI/SD SDI (IN 2/R)	
	VIDEO (IN)	コンポジット信号入出力: 1系統、BNCコネクタ×2、1 V(p-p)、75 Ω ※INとOUTはブリッジ接続(自動終端)
	VIDEO (OUT)	
音声	AUDIO (IN)	アナログ音声信号入力: 1系統、ステレオミニジャック×1、 500 mV(rms)、ハイインピーダンス
	AUDIO (MONITOR OUT)	アナログ音声信号出力: 1系統、ステレオミニジャック×1、 500 mV(rms)
外部制御	REMOTE (MAKE/TRIGGER)	24ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
	REMOTE (RS-422)	25ページ「シリアル方式での外部制御」

仕様（つづき）

対応信号フォーマット

本機は以下の信号フォーマットを入力・再生できます。

ビデオ信号

○:入力可
—:入力不可

No.	名称	ステータス表示の 信号フォーマット (※10ページ)	入力端子				
			E. AUDIO SDI(IN 1、IN 2) ^{注1}			analog VIDEO	HDMI (デジタルコンポーネント /デジタルRGB)
			SD/HD (1.5G)	3G SDI	DUAL LINK		
1	NTSC	NTSC	—	—	—	○	—
2	PAL	PAL	—	—	—	○	—
3	480/60i	480/60i	—	—	—	—	○
4	480/59.94i	480/59.94i	○	—	—	—	○
5	576/50i	576/50i	○	—	—	—	○
6	480/60p	480/60p	—	—	—	—	○
7	480/59.94p	480/59.94p	—	—	—	—	○
8	576/50p	576/50p	—	—	—	—	○
9	640*480/60p	640*480/60p	—	—	—	—	○
10	640*480/59.94p	640*480/59.94p	—	—	—	—	○
11	720/60p	720/60p	○	○	—	—	○
12	720/59.94p	720/59.94p	○	○	—	—	○
13	720/50p	720/50p	○	○	—	—	○
14	720/30p	720/30p	○	○ ^{注7}	—	—	○
15	720/29.97p	720/29.97p	○	○ ^{注7}	—	—	○
16	720/25p	720/25p	○	○	—	—	○
17	720/24p	720/24p	○	○	—	—	○
18	720/23.98p	720/23.98p	○	○	—	—	○
19	1080/60i	1080/60i	○	○	○	—	○
20	1080/59.94i	1080/59.94i	○	○	○	—	○
21	1035/60i	1080/60i	○ ^{注5}	—	—	—	—
22	1035/59.94i	1080/59.94i	○ ^{注6}	—	—	—	—
23	1080/50i	1080/50i	○	○	○	—	○
24	1080/60p	1080/60p	—	○	○	—	○
25	1080/59.94p	1080/59.94p	—	○	○	—	○
26	1080/50p	1080/50p	—	○	○	—	○
27	1080/30p	1080/30p	○	○	○	—	○
28	1080/29.97p	1080/29.97p	○	○	○	—	○
29	1080/25p	1080/25p	○	○	○	—	○
30	1080/24p	1080/24p	○	○	○	—	○
31	1080/23.98p	1080/23.98p	○	○	○	—	○
32	1080/30PsF	1080/30psf	○ ^{注2}	○ ^{注2}	○ ^{注2}	—	—
33	1080/29.97PsF	1080/29.97psf	○ ^{注3}	○ ^{注3}	○ ^{注3}	—	—
34	1080/24PsF	1080/24psf	○	○ ^{注7}	○	—	—
35	1080/23.98PsF	1080/23.98psf	○	○ ^{注7}	○	—	—
36	1080/25PsF	1080/25psf	○ ^{注4}	○ ^{注4}	○ ^{注4}	—	—

注1 EMBEDDED AUDIO信号対応。

注2 ペイロードIDがない場合は、1080/60iとみなされ、「1080/60i」とステータスが表示されます。

注3 ペイロードIDがない場合は、1080/59.94iとみなされ、「1080/59.94i」とステータスが表示されます。

注4 ペイロードIDがない場合は、1080/50iとみなされ、「1080/50i」とステータスが表示されます。

注5 1080/60iとみなされ、「1080/60i」とステータスが表示されます。

注6 1080/59.94iとみなされ、「1080/59.94i」とステータスが表示されます。

注7 3G-SDI LEVEL_A YCbCr/RGB,4:4:4,10bit:720/30p、720/29.97p、1080/24psf、1080/23.98psf と、3G-SDI LEVEL_A YCbCr,4:2:2,12bit:1080/24psf、1080/23.98psf はEMBEDDED AUDIO信号非対応です。

輸送上のお願い

本機は精密機器のため、輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は使用しないでください。

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 画面サイズのV型(32V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品」です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本機は、医療用機器ではありませんので、表示画像は診断には使用できません。

パソコン信号(プリセット)

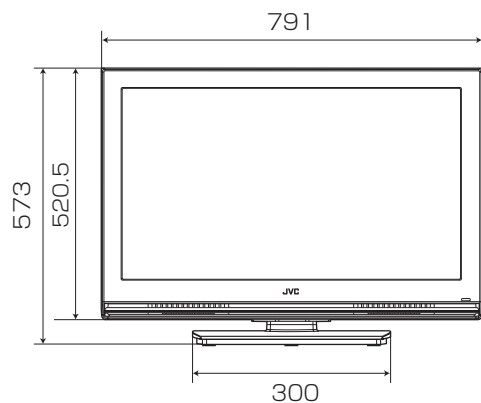
HDMI端子:

No.	名称	解像度		周波数		走査方式
		水平	垂直	水平(kHz)	垂直(Hz)	
1	VGA60	640	480	31.5	59.9	ノンインターレース
2	WVGA60	848	480	31.5	59.9	ノンインターレース
3	SVGA60	800	600	37.9	60.3	ノンインターレース
4	XGA60	1024	768	48.4	60.0	ノンインターレース
5	WXGA(1280)	1280	768	47.8	60.0	ノンインターレース
6	QuadVGA60	1280	960	60.0	60.0	ノンインターレース
7	WXGA+60	1440	900	55.9	60.0	ノンインターレース
8	SXGA60	1280	1024	64.0	60.0	ノンインターレース
9	WSXGA+60	1680	1050	65.3	60.0	ノンインターレース
10	720/60p	1280	720	45.0	60.0	ノンインターレース
11	1080/60p	1920	1080	67.5	60.0	ノンインターレース
12	720/50p	1280	720	37.5	50.0	ノンインターレース
13	1080/50p	1920	1080	56.25	50.0	ノンインターレース

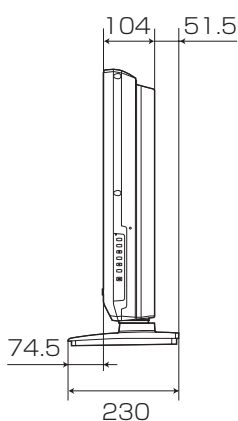
- プリセットされている信号でも、信号のタイミングにより正常に映らないことがあります。
- プリセットされている信号を入力したときは、ステータス表示で信号フォーマットが表示されます。

外形寸法図 (単位:mm)

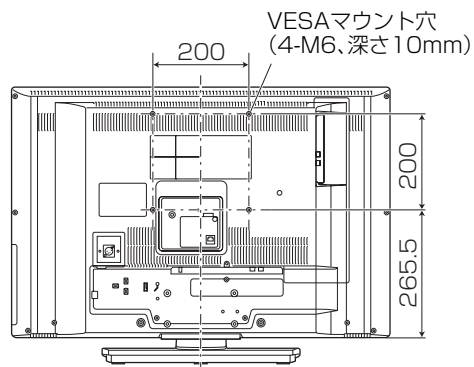
<正面>



<側面>



<背面>



- HDMI、HDMI ロゴおよび、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- HDCP はHigh-bandwidth Digital Content Protection の略称で、Digital Content Protection,LLC が認可する信頼性の高い著作権保護技術です。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、「困ったときは」(P27ページ)に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または別紙の「業務機器相談窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口案内にご連絡ください。

- 保証期間中は
修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡していただきたい内容

品 名	表紙参照
型 名	表紙参照
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせて
お 名 前	
電話番号	() -
訪問後希望日	

■ 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 +
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 +
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「業務機器相談窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

全般的なご相談

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

 0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・
FAXなどからのご利用は

電話 (045) 450-8950
FAX (045) 450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12